

たくさんの居場所を経験して

私はここ知多市出身で、母子家庭で育ちました。兄弟はいません。実は私は不登校生でした。

小学校の6年生の3学期から登校できなくなり、中学の3年間はほとんど登校できていません。その時は本当にいろんな不安で押しつぶされそうな毎日でした。

そんな私は35歳になりました、現在は名古屋市で一人暮らししています。なので、だいたい20年くらい前のお話ですが、不登校だった私のちょっとした昔話をします。

20年前。当時はスマホなんてまだ無かったので、家でテレビをみたり、漫画を読んだり、ゲームをしたりしていました。元気な時は起きられました、不調になると朝から晩まで布団から出られないという状況になり、昼夜逆転の生活になりました。そんな時に母に無理やり外に連れ出され、この知多市の青少年会館で井上さんに会いました。「長い夏休みをもらっているんだね」という言葉が印象に残っ

ています。

それから少しずつですが、週1回家庭教師に来てもらい、2週間に1回、タッチという市がやっているフリースクールに母と一緒に電車で参加する事ができるようになっていきました。

当時からの知多市での「進路を考える会」というのはあったのですが、中3の9月の時点ではまだ参加できる状況ではありませんでした。毎日を過ごすこと自体が必死な私が、自ら選んだ学校に通うなんて、今、中学に登校できていないんだから私にはとてもできないだろうと思っていました。

毎日を必死に過ごしていた頃に、家庭教師の方が土曜日にやっていた『たまり場』という、ただ集まってしゃべって、トランプとかするだけ！の場所があって、そこに「同じような境遇の高校生の先輩方がいるので来てみないか？」と言われ、迷いましたが、意を決して参加しました。

もう20年も前なので、何があったかは全く覚えていませんが、そこで会った人たちとは、いつのまにか打ち解けて話をする事ができるようになっていました。20年経った今でも、たまに会っておしゃべりしたり、一緒にゲームしたりするくらい

昔と変わらずつながっています。

中3の7月頃になるとタッチなどの活動を通じて、家にいたらできないことがいっぱいあるし、面白い人や物事がいっぱいあるという発見ができるようになっていました。次第に私は、「今できていることはきつと学校でもできるんじゃないか、学校で友達と話がしたい」と思えるようになっていました。まだ、休むこともあり、非常にゆつくりでしたが、中3の12月頃には少しずつ行動できるようになっていました。その後は、家庭教師の方と一緒に進路の相談をして、高校の見学に2つほど行きました。

結果的に私は、高校を名駅のニュートン高等学院というところに決めました。そこは1学年1クラスで、全校で3クラスしかない、非常に小規模なところという事が魅力的で選びました。また、見学に行った時に、先生と生徒の距離が近かったので、そういったアットホームな雰囲気で決めた気がします。

受験に関しては、見学の際に先生に聞いて、家庭教師の方と対策を考え、勉強し、入学することができました。今思い返すとなぜかとても簡単だった記憶があります。高校入学後は友人もできて、勉強のためというよりは、友達に会いに行っていた

感じでした。今、改めて振り返ると、進路のことなどを考える際にもっとこうしておけばよかったと思う、しくじりポイントが2つあります。それだけ最後にお話しさせてください。

一つ目は、登下校が大変だったこと。知っている同級生がいないような高校をと思い、少し遠いところを選んでしまったので、慣れれば大したことないのですが、はじめは相当大変だったのを覚えています。ずっと家にいる生活だったので、体力がなくて、一週間持たないんですね。なので、入学前に少し早く起きる準備とか、ウォーキングするとか、電車に乗る練習とかして慣らしておけば良かったと思います。

二つ目は、その先のライフプランをきちんと立てるべきだったという事。中学の頃は高校を卒業した後、大学や専門学校なんて選択肢を自分が考えるなんて全く思いませんでした。結果的に推薦状をもらって、ろくに受験勉強もせずにすんなり大学に入るので、その後、大学の授業についていけず、留年します。その後が特に大変でした。私が大学の留年を決めた後に、親に「これ以上は準備できないよ」と言われ、渋々休学し、バイトをして自分で学費を貯めることになりました。結局

合計6年もかかりましたが大学を卒業することができました。

ただ、お金も、2年という時間も、すごく勿体ない事をしたと今でも後悔しています。もっと早い段階で学費などの相談ができていたら、私の行動も変わったんじゃないかと後悔しています。

なので、ご清聴いただいている皆さんにはそういう失敗は絶対にしてほしくないのです、将来どんな人になりたいか、何を学んでいきたいか、それをこれから実行するのにいくらかかりそうか、など、お子さんの人生設計が現実とかけ離れていないかということをしつかりご家族で話し合ってほしいと思います。というのが二つ目です

とはいえ、なかなか家族会議でお金の話しとか将来の話しをしつかりするのは、子どもからも親御さんからも言い出しづらいもので、難しかったと感じています。

しかし、将来のための人生設計を手伝ってくれるフィナンシャルプランナーさんがあるという事を最近知りました。簡単に言うとお金のことや、将来の不安について相談ができる方です。困ったときは、誰かの手を上手に借りながら少しだけ先のこと考えるといいと思います。

最後に、今進路を考えている方は、今日この後の先生方のお話しを聞いて、気になるところへは、ぜひ見学に行ってほしいです。実際に見ることですごくイメージが沸きます。

これは私個人の感想なのですが、パンフレットの写真ですごくキラキラしてて当時の自分にはこんな学校は無理だろうなって、勝手に思い込んで敬遠してましたので、まず気になったら見学に行ってほしいです。学校とか先生の雰囲気とか、案外家から近く感じるなあとか、いろいろ見えてくると思います。

あと、これはあまり大きい声では言っではいけないかもしれませんが、高校生なので、寄り道できそうな場所が近くにあるかどうかも見学に行かないとわからないと思うので、とにかく自分が通ってもいいかも、って思える学校を見つけてください。良い選択ができるように応援しています。